無限 MUGEN

45022-XG9 -K500　SPORTS PAD SET Type SPORTS
45022-XG9 -K400　SPORTS PAD SET Type COMPETITION

for HONDA INTEGRA Si VTEC/SiR/typeR(96spec)

取　扱　説　明　書

当製品をご使用される皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
当製品は、スポーツ走行を行うユーザーの為に開発された特別なブレーキパッドです。
ご使用される前に必ず本文を読み、注意点等十分ご理解の上ご使用下さい。

⚠ 注　　意

●当製品には、ウェアインジケータ（ブレーキパッド残量警告装置）が装着されておりません。
定期的にパッドの残量、その他異常がないか点検して下さい。
万一異常が認められた場合は、大変危険ですのでご使用を中止して下さい。
※残量が２㎜以下になったら必ず交換して下さい。

●摩耗限度を超えたブレーキパッドは本来の制動力を発揮できない恐れがあるばかりでなく、ブレーキローターを傷めたり、事故等を引き起こす可能性があり、きわめて危険ですので絶対に使用しないで下さい。

●交換直後は、パッドとローターに「馴染み」が出ていないため、一般的に若干制動力が低下します。「馴染み」が出るまでは十分な制動距離を確保して下さい。

●サーキットにおける使用に際し、その本来の性能を発揮するためにはパッド装着後、十分な制動距離を確保した上で、数回のハードブレーキングを行い、パッドの焼き入れ（パッド材内部のガス抜き）をして下さい。

●当製品は、一般的なノーマルパッドとは異なり、制動性能重視のため、ブレーキノイズ・ダスト・摩耗の性能に関して劣る場合があります。

●ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は必ず認証工場で行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒３５１－８５８６　埼玉県朝霞市膝折町２－１５－１１
株式会社　Ｍ－ＴＥＣ　商品事業部　商品課　国内営業ブロック
【営業時間　9:00～18:00】
TEL. ０４８－４６２－３１３５　FAX. ０４８－４６２－３１２１

当製品の特性

○純正品に対しローターやパッドの表面温度が上昇した時でも、制動力が安定しています。
○高温下での耐摩特性が優れています。（サーキット走行時も摩耗が比較的少ない）
●純正品と比較して、ローターへの攻撃性が高いため、ローターの摩耗にご注意下さい。
●ストリート走行時、キーキー音、ゴーゴー音が出る事があります。
●パッド摩耗粉が多い為、ホイールの掃除をこまめに行って下さい。

無限 MUGEN

45022-XG9 -K500　SPORTS PAD SET Type SPORTS
45022-XG9 -K400　SPORTS PAD SET Type COMPETITION

for HONDA INTEGRA　Si VTEC/SiR/typeR(96spec)

取　付　説　明　書

当製品の組込み作業を行う皆様へ

この度は、無限製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付け前には、本書をよく読みご理解の上、正しくお取り付け下さい。
取り付け後は、本書と取扱説明書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1．開梱後は、ただちに部品類の不足や破損のない事を確認して下さい。

2．取り付け前に型式の確認を行って下さい。当製品は、各車種ごとに専用設計をしておりますので、適応車種以外への取り付けは行わないで下さい。
［適応車種］　ＩＮＴＥＧＲＡ SiVTEC/SiR/TypeR　ＤＣ２・ＤＢ８－１１０・１２０

3．ブレーキパッドは重要保安部品です。交換作業は必ず陸運局認定の整備工場で行って下さい。交換に伴う不具合により生じた事故等につきましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。

4．純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。
〒３５１－８５８６　埼玉県朝霞市膝折町２－１５－１１
株式会社　Ｍ－ＴＥＣ　商品事業部　商品課　国内営業ブロック
【営業時間　9:00～18:00】
TEL.０４８－４６２－３１３５　FAX.０４８－４６２－３１２１

⚠ 警　　告

●走行直後に交換作業を行うと、ローターやパッドが非常に高温になっており大変危険です。交換作業は必ず十分冷えてから行って下さい。

●パッドの摩擦材にはあらゆるファイバー(繊維質)が含まれており、これらの粒子が手に刺さる恐れがあります。交換作業の際は、必ず軍手等の手袋をご使用下さい。
また、パッドからの研磨粉・摩耗粉の飛散により、体内への侵入が考えられますので、十分な注意が必要です。

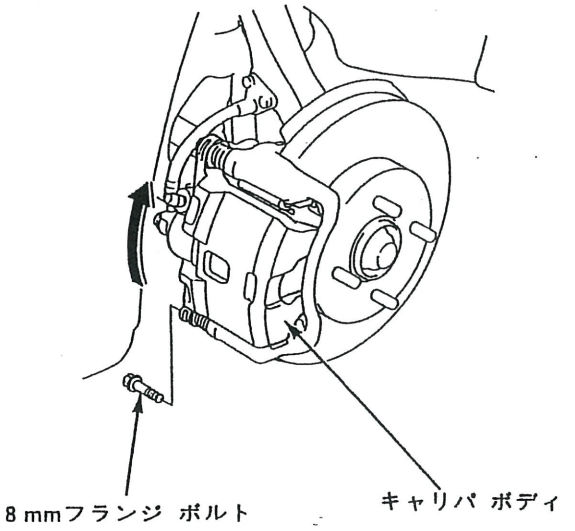
●パッドの装着に際しては、サービスマニュアルに従ってディスクローターに異常摩耗、段減り、クラック、振れ等がないかを十分点検して下さい。

【構成部品】

フロントブレーキパッドの交換

注 意 **ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。**

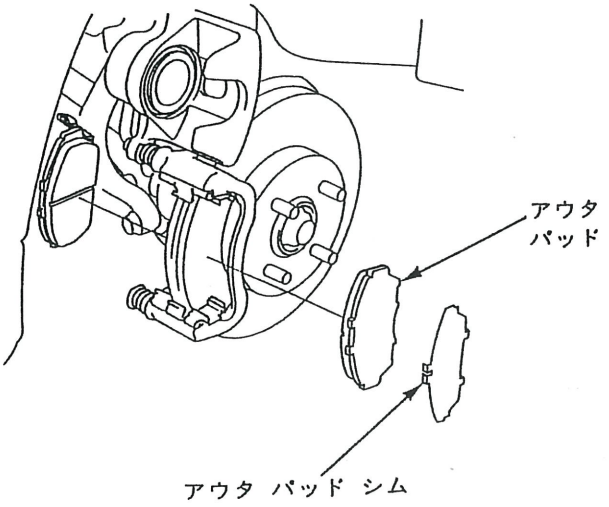
①下側の８㎜フランジ ボルトを外し、キャリパ ボディを持ち上げる。



②キャリパ ボディを針金等で固定する。

注 意 **ブレーキ ホースでキャリパを吊り下げないこと。また、ブレーキ ホースをブラケットおよび周辺部で損傷させないこと。**

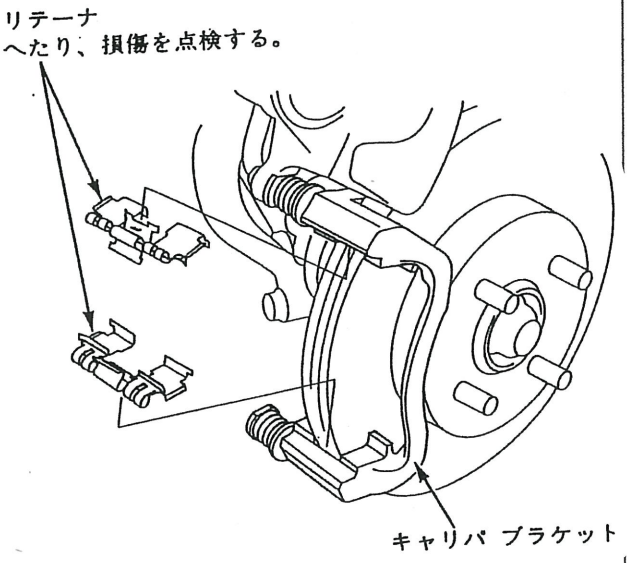
③キャリパ ブラケットからパッドとパッド シムを取り外す。



④リテーナを取り外し、清掃する。

⑤キャリパ ブラケットを清掃する。

⑥リテーナを取り付ける。



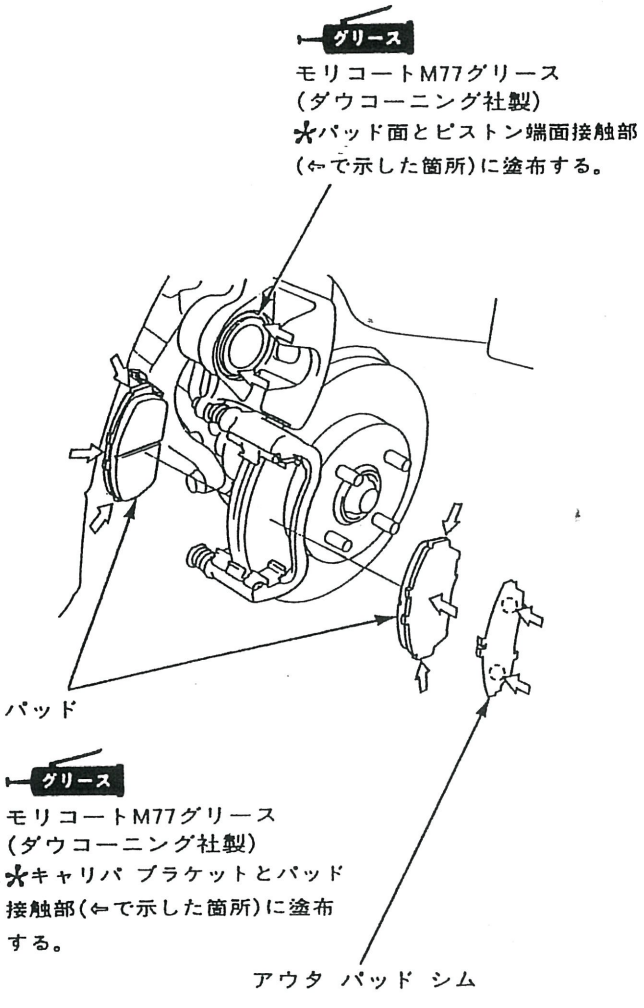
⑦下記の個所にモリコートM７７グリースを塗布する。

- インナ／アウタ シムとパッドの接触面
- ピストン端面およびキャリパ ボディとアウタ シムの接触面
- キャリパ ブラケットとパッドの接触面

注 意 シム装着時、パッドとシムからグリースがはみ出さないようにすること。

注 意 ブレーキ ディスクとパッドの摺動面に油脂類を付着させないこと。

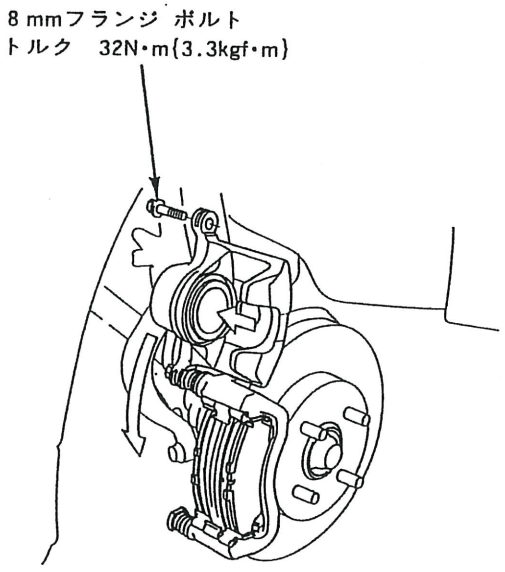
⑧シムをパッドに組み付け、キャリパ ブラケットに取り付ける



⑨キャリパ ボディを清掃し、ピストンを静かに押し込む。

※マスタ シリンダのリザーブ タンクからフルードがあふれてないか確認すること。

⑩キャリパ ボディを元の位置に戻し、８㎜フランジ ボルトを締め付ける



⑪ブレーキ ペダルを数回踏んで、ピストンを押し出す。

注意 ピストンが戻されたまま走行しないこと。ピストンの戻りが大きいと、最初にペダルを踏んだ時にブレーキが効かないことがある。

⑫マスタ シリンダのブレーキ フルード量を点検する。

⑬取り付け後、ブレーキホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないかどうか点検する。